



令和5年京都市はたちを祝う記念式典を開催！

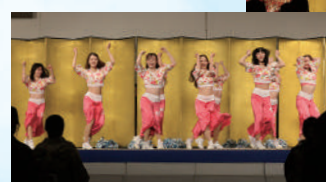
京都市はたちニュース

「京都で人とつながる夢がひろがる」

「はたちを祝う記念式典」に

多くの皆さんにご参加いただきました。

1月9日(月・祝)にみやこめっせ(京都市勧業館)で行われた「京都市はたちを祝う記念式典」。当日は晴天に恵まれ、4,546名の方が参加され、厳粛で温かみのある式典となりました。



優雅な音色と
華麗な踊りで
はたちを迎える方
をお迎えしました。

式典のオープニングとして、市立芸大のエトワールカルテットによる弦楽四重奏、京都ハンナリーズオフィシャルチャダンサー「はんなりん」によるチャリーディング、京小町踊り子隊による踊りを披露いただきました。

京小町踊り子隊の「京小町踊り子隊メドレー」で一気にお祝いの雰囲気溢れる中、式典がスタートしました。

新成人への 励ましと華包贈呈

稲田新吾京都市教育長からの新成人への励ましの後、吉田良比呂京都市副市長と澤村悦弘ユース21京都理事長から、京都の若手華道家達が現代に復活させた、江戸時代のいけばなの伝書に残る「華包(はなつつみ)」が新成人代表へ贈られました。



田中議長から はたちを迎えられる皆様へ

田中明秀京都市会議長からは「人生は何が起こるかわからない、その中でどのような状況にあっても自分の可能性を信じ、前向きに挑戦を続けていただきたい」とのお祝いの言葉が贈られました。



門川市長から はたちを迎えられる皆様へ

門川大作京都市長からは「人生に無駄なことなし」「京都の更なる前進に皆さんに参画していただきたい」との式辞がありました。



新成人代表による二十歳の誓い



中村 凜さん

私はこの場で「有名になる」ことを宣言します。今この大勢の人の場で、非常にリスクなことを言いました。でももうやしかありません。
今の目標は自分の誕生日である来月に自分の曲でデビューすることです。これから更なる挫折を繰り返すと思いますが、全て行動の証だと認識して自分を奮い立たせ、失敗を失敗に終えず、夢ある未来に向けて挑戦し続けることを二十歳の誓いとしします。



ブラウン 落七さん

私の将来の夢は、難民の教育支援に携わることです。高校生のときに難民問題をテーマにしたワークショップに参加したことがきっかけで、興味を持つようになりました。子供たちが戦争や紛争、日々の不安から距離を置いて安心できる環境を作りたいと思っています。子供たちが保護に頼らず、自分で考え自分の人生を生きることが出来るようになる、私からこれから実現してみたい教育支援です。



五島 聖愛さん

私はテレビで災害の現場に駆け付け、人を助けている自衛官の姿を見て、「私も自衛官になりたい!人の役に立ち、人を支えたい!」と思うようになり、これが「第一の目標」となりました。また、後半の人生には母と私の二人三脚でキッチンカーをすることを「第二の目標」としています。私は二つの夢を必ず叶えることを、二十歳の誓いとしします。



恩田 百恵さん

私は高校生の時に、摂食障害とそれに伴ううつ病を患いました。うつ病になった私は、暫くは殆ど学校に行っていませんでした。でも、当時体育の授業はだけは楽しんで行くことができました。体を動かすことで自然と心も豊かになり、心も体も喜んでいくような感覚を味わいました。この自身が経験した苦しさ、その時にたくさん助けて貰った人達への感謝を、次に私と同じ経験をする人たちに、心の健康の分野で支えてあげられるような体育の先生に私はなりたいです。



松尾 颯太さん

夢を諦め意欲を失っていた私ですが、ある交番の警察官との出会いから、「警察官になって事故や犯罪で悲しむ人を減らしたい、人の気持ちに寄り添える人になる」という、新たな目標が生まれました。これからは自分が社会を支える一員となって、次の世代に繋ぐ番です。この感謝の気持ちを忘れずに、目標に向かい、努力を続けることを二十歳の誓いとしします。



高山 夢菜さん

私は大学で社会福祉を学んでいます。その授業の中で、世の中にはいろんな家庭があり、しんどいのは自分だけではない事を知りました。そして、今3つの資格と免許を取るために毎日学校に通い、通信制の大学でも勉強しています。毎日学校とバイトの往復ですが、これからも働く事と学ぶ事を、ずっと続けていきます。

今回も「おめでとう・ありがとうの手紙」を多くの皆さんから頂きました

子から母へ

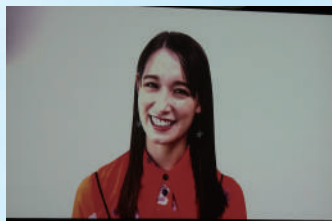
お母さんへのたくさんのありがとう
わがまま聞いてくれてありがとう
毎日起こしてくれてありがとう
お弁当つくってくれてありがとう
部活を応援してくれてありがとう
送り迎えしてくれてありがとう
自分のしたいことをさせてくれてありがとう
私のことを一番に考えてくれてありがとう
怒ってくれてありがとう
大量の練習着を洗濯してくれてありがとう
どんな時も味方でいてくれてありがとう
いつも言い合っただけでたくさんのありがとうがあります。
私を産んでくれてありがとう。
お母さん成人したよ。こんなに大きくなったよ

成年年齢引下げ後も20歳での式典を継続します!

改正民法施行により、成年年齢が18歳に引き下げられましたが、京都市では、参加者が落ち着いて参加することができ、旧友との友情や家族や地域社会との繋がりをしっかりと確認できるよう、成年年齢引下げ後も、20歳の方を対象に「はたちを祝う記念式典」を開催します。
これからも、京都市全体で青年の成長の節目を祝ってまいりましょう。

ご自身としては2年前の「京都市はたちを集う記念式典」にも参加。また同じくモデルとして活躍されている弟の「トラウデン都仁」さんも、今年度の式典にも参加されておられました。

京都市左京区出身でモデル・タレントのトラウデン直美さんからお祝いメッセージをいただき、当日、式典会場で披露しました。トラウデン直美さんは、13歳の時に雑誌の専属モデルとしてデビュー。現在はモデルだけでなく、女優やキャスターなど、積極的に活動されています。



タレントの
トラウデン直美さんから
お祝いメッセージが届きました

思い出成人式

京都市はたちを祝う記念式典には、様々な理由で20歳の時に式典に参加できなかった方で、式典に参加したい方をご招待し、新成人の方と一緒に式典に参加いただいております。今回は1名の方が出席されました。

小学4年生がこれまでの成長を振り返り、将来を考える「1/2成人式」。当日は小学校4年生の児童とその保護者たちが参加し、会場の受付で新成人の方に「おめでとうございませ〜!」と元気な声を掛けてくれました。その後、新成人とともに式典にも参加し、これからの自分の将来に思いをはせていました。



1/2成人式の取組